

曙通信 vol.10



曙まちづくりセンターからのお知らせ

新メンバー

若葉が目まぶしい季節となりましたね。冬号から三ヶ月近くが経ち、あっという間に曙通信春号の発行です。今年度から曙まちづくりセンターのメンバーが新しく変わりました。お名前は田端さん、眼鏡の似合うとても上品な方です。曙まちづくりセンターに行けば会うことができますので、皆さん是非一度足を運んでみてください。

カラスにご注意!

我々のごく身近にいるカラス、実は5月中旬～6月上旬にかけて子育ての時期となり非常に警戒心が強まります。カラスが「カッカッカ」と小刻みに鳴いているときは近くに巣がある可能性が高いので、その場から遠ざかるか迂回しましょう。

カラス豆知識

カラスには、にごった声で「ガアガア」鳴くハシボソガラスと、嘴が太く澄んだ声で「カァカァ」と鳴くハシブトガラスの二種類がいます。市街地で生ゴミをあさっているのはハシブトガラスのほうで気性がやや荒いです。またカラスのあの鋭い嘴（くちばし）で突かれることを恐れる方もいると思いますが、カラスは飛行する生き物なので、自らの飛行が不能になるような頭から体当たりをする攻撃はしません。（札幌市HP参照）

カラスについての注意事項

①カラスを見つけても、むやみに刺激しない。

（変に刺激すると攻撃される可能性もあるのでご注意を）

②ゴミステーションをきれいに保つ。

（ゴミステーションは都会のカラスの絶好のエサ場となりますので、まめな清掃やカラスよけネットの設置など管理をしっかりとしましょう。）

③カラスにエサはあげないで。

（餌付けすると学習能力の高いカラスは人を恐れなくなり、人に近づき生き延びるカラスが増えてしまいます。）

④巣の駆除は基本的に巣を作られた木の所有者が行ってください。

（ただし、巣に雛や卵がある場合は札幌市の許可が必要になりますのでご注意下さい。）

一人一人の工夫や努力でカラスの被害を減らすことができます。縁があって住むことになったこの曙地区で責任を持って上手にカラスと共存していきましょう。

発行：曙まちづくりセンター（011-511-0116）、あけぼのA&Cセンター（011-513-6181）

発案・デザイン・編集：前田（曙まちづくりセンター所長）、上木（あけぼのA&Cセンター）

~曙地区平成24年度前期の歩み~

こちらのページでは曙まちづくりセンター（以下まちセン）とあけぼのアート&コミュニティーセンター（以下A&C）の平成24年度の歩みをアルバム風に振り返ってきたいと思います。

A&C



鴨々川清掃活動

毎年参加しているクリーニング作戦に今年も参加しました。皆さんの頑張りで綺麗な川に戻りました。

消防団合同訓練

7月には消防団による合同訓練が行われました。

春の敷地内ゴミ拾い

冬の間にとまりにたまったの敷地内のゴミ拾いを長期入居者の皆さんと一緒に行いました。

まちセン



まちセン・A&C



サマーフェスティバル 2012in 曙

今年は曙地区連合町内会創立40周年記念ということで、例年以上の盛り上がりを見せました！カラオケ紅白歌合戦や民謡など途中雨に見舞われながらも、とても心に残るお祭りとなりました。

A&C



あけぼのA&C図書室

あけぼのA&C図書室の本の貸出がスタート！
毎週水・木・土曜日の午後2時～午後5時に貸し出し中です。



～曙地区平成24年度後期の歩み～

まちセン



みんなの講演会で合唱発表
女性部の皆さんで合唱発表。
素敵な歌声が会場いっぱいに
響き渡りました♪

A&C

あけぼのアフタースクール始動
11月からあけぼのA&Cセンター初の
アフタースクール事業が始まりました。
3月までの全5回みんな楽しそうに
参加してくれました。



まちセン・A&C



曙連合町内会新年交礼会
16町内会の方々が一度に集まる
数少ない機会なので、じゃんけん大会に
カラオケ大会と大いに盛り上がりました。

A&C



いっしょに奏でるコンサート
地域連携コミュニティ再生講座の
一環として14号室に入居中の
NPO法人札幌室内歌劇場さん出演の
オペラコンサートを開催しました。
本格的なオペラに鳥肌が止まらない！



あけぼのアート&コミュニティセンター（A&Cセンター）からのお知らせ



あけぼのアート&コミュニティセンターの管理運営について

平成25年度から平成28年度までの4年間、あけぼのアート&コミュニティセンターの管理は再びNPO法人コンカリーニョが継続して行うこととなりました。

今日までの約3年半、お世話になりました曙地区連合町内会の皆様に改めまして厚く御礼申し上げますとともに、今年度からの4年間何卒宜しくお願い申し上げます。

長期入居者募集

あけぼのアート&コミュニティセンターの新しい長期入居者を募集いたします。

芸術活動のアトリエや劇団の稽古場、音楽の練習室としてなどなど様々な用途にご利用いただけます。

募集概要

部屋タイプ	大きさ	月額家賃	入居可能日
2階の1部屋（タイプ大）	9m×7m(63㎡)	60,000円	すぐに入居可
3階の1部屋（タイプ大）	9m×7m(63㎡)	60,000円	すぐに入居可
2階の1部屋（タイプ小）	3m×7m(21㎡)	22,000円	7月1日から入居可
2階の1部屋（タイプ大）	9m×7m(63㎡)	60,000円	7月1日から入居可

- ① 入居を希望される方はあけぼのアート&コミュニティセンター事務局まで必要書類を提出してください。必要書類はあけぼのアート&コミュニティセンターのホームページからダウンロードできます。URL→<http://www.concarino.or.jp/akebono/v2/download.html>
- ② 書類提出後、面談を行いますので提出時に面談の希望日時を打ち合わせさせてください。（同じ部屋に応募が殺到した場合は面談前に書類選考を行います。）

詳しくは011-513-6181（あけぼのアート&コミュニティセンター事務局）まで

あけぼのアート&コミュニティセンターの中ホールを使いませんか？

当施設の中でも特に芸術発表の場に適している中ホール。ここには世界3大ピアノのひとつであるBösendorfer（ベーゼンドルファー）が置いてあります。ピアノを弾いたことのある方なら誰もが一度は弾いてみたい憧れるそのピアノが、当施設では貸室利用料とピアノ使用料合わせて**3500円**で弾くことができます。（アート割適用で暖房費は含まれません）



Bösendorfer（ベーゼンドルファー）豆知識

ベーゼンドルファー社では1828年の創業以来伝統の製法を守り、熟練した職人が手作業でピアノを製作している。また材料となる木材は約5年かけて自然乾燥させてから使用し、1台のピアノを作るのに1年以上の時間を費やす。こうして出来上がったピアノは各国の皇室の御用達として選定されるなど創業以来180年以上愛されている。